

9. カリキュラム概要

(1) カリキュラムの仕組み

神田外語学院のカリキュラムは、全学科（GC科・留学科・1年制課程・9ヵ月コース除く）共通の「共通（必修）科目」、その学科独自の科目である「専門科目」、そして個々の学生のニーズに応える「選択科目」の3段階になっています。具体的には「共通（必修）科目」で発信型の英語力、IT技術、TOEICの資格など今の社会で大切な分野を固め、「専門科目」では社会ですぐ使える専門知識を身につけ、更に「選択科目」でそれまでの学習の強化や補足を行います。神田外語学院では1996年から語学の授業を中心にタスクベースという教授法を取り入れています。この教授法は、「語学は受身の学習では上達しない」というデータに基づき、学生は教師から与えられたものを暗記するのではなく、自らが考えて答えを見出し、それを使うように指導されます。この教授法によって授業で学んだことが実際に使えるようになっていきます。

また、冬季集中学期では多くの選択科目が用意され、学生自らが必修科目に加え自分のニーズに合わせてスケジュールを組むことができます。自分が強化したい分野や弱い分野の克服、就職や進学に備えた準備ができるカリキュラムにより、多様な学生の希望やニーズに対応できるようになっています。

留学科では、ノート・テイキングやTOEFL準備コース等、アメリカでの大学生活に必要な基礎力をつけるための大学準備科目と、CSUF（カリフォルニア州立大学フレズノ校）に単位認定されているCSUF単位認定科目を、殆ど全て英語で学びます。そのため、留学に必要な知識を学ぶと同時にCSUFやコミュニティカレッジの単位を取得し始めることができるようなカリキュラムになっています。

